

都市構造再編集中支援事業事前評価シート

計画の名称:テクノポリスセンター地区(第2期)都市再生整備計画 事業主体名:宇都宮市

チェック欄

| I. 目標の妥当性 | |
|-----------------------------------|---|
| ①都市再生基本方針との適合等 | |
| 1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 | ○ |
| 2)上位計画等と整合性が確保されている。 | ○ |
| ②地域の課題への対応 | |
| 1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。 | ○ |
| 2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ③目標と事業内容の整合性等 | |
| 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ○ |
| 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| 3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | ○ |
| 4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。 | ○ |
| 5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。 | ○ |
| ④事業の効果 | |
| 1)十分な事業効果が確認されている。 | ○ |
| 2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ⑤地元の熱意 | |
| 1)まちづくりに向けた機運がある。 | ○ |
| 2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 | ○ |
| 3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 | ○ |
| ⑥円滑な事業執行の環境 | |
| 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ○ |
| 2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 | ○ |
| 3)計画について住民等との間で合意が形成されている。 | ○ |